

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の唱和を毎朝朝礼にて行っていたが、新型コロナウイルス感染予防対策である「3密」を回避するため現在は中止している。地域とのつながりについても同様で、その都度対策が必要である。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	以前は、校区の小学校行事への参加、地域のボランティアの方や幼稚園児・小学生との交流があったが、現在は新型コロナウイルス感染予防対策の「3密」回避のため、地域とのつながりは中断している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	毎年、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症見守りメイト、サマーボランティア、大学看護学科学生等の実習生の受け入れを行っているが、現在は新型コロナウイルスの影響のため、行っていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	プライバシーに十分に配慮した上で、ご利用者の生活状況やインシデントについて詳細に報告、更にサービス提供情報、行事等の報告、様々な問題点について協議テーマを設け、幅広い意見を受け、ホームの運営やサービス向上に活かしていたが、現在は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進委員は参加せず事業所のみでの開催。議事録を委員へ配布している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>以前は市の介護相談派遣事業の受け入れを行っていたが、現在は新型コロナウイルス感染予防対策のため、行っていない。自己・外部評価の提出等は市との連携を十分に行い、協力関係を継続している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回開催し、議事内容を回覧・全体ミーティングにて報告を行い、全職員が共有できるようにしている。また、職員の内部研修で1年に2回身体拘束・虐待について実施し、全職員が日頃からのケアについて振り返り、身体だけでなく、心理的虐待や精神的拘束に繋がっていないか等の知識・理解・意識向上に取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>2ヶ月に1回身体拘束委員会と虐待防止委員会を開催し、議事内容の回覧・全体ミーティングにて報告し、全職員が共有出来るようにしている。なお、毎月ご利用者のケア検討会を開催し、日頃のケアについて振り返り身体的虐待・心理的虐待等に繋がっていないかを確認し、全職員で情報共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、成年後見制度を利用している対象者はいない。全職員が内・外部研修を踏まえて権利擁護とは、利用者本位であり、利用者の人権を守るための重要な制度であるということを理解している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関して重要事項説明書、その他契約の締結時・改正時には、利用者・家族に分かりやすく説明し、理解・納得して頂けるよう努めている。また不安に思っていることや疑問に思ったことを尋ねやすいよう環境を作り、理解・納得した上で契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談窓口を計画作成担当者が兼任。利用者・家族が気軽に意見や要望を伝えられる環境を作っている。定期的に解決窓口の取締役・顧問・管理者による意見や要望等に関する委員会を開催、議事内容や対応策については、第三者でも閲覧できるようにしている。また各階の家族が参加できる運営推進会議は、現在新型コロナウイルス感染予防対策の「3密」を回避するため行っていない。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営側と職員の間で定期的に面談を行い、運営に関する職員の意見や提案を述べられる機会を設けている。また運営側・管理者は、職員の意見・提案を十分に検討し、ソフト面・ハード面においてより良い運営ができるように反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業年数に応じた昇給制度や資格手当等を設け、職員の意識向上につながる条件を整えている。また、勤務の定時出勤・退勤ができる環境や有給休暇も無理なく取得できるなど職員が働きやすい環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>人材育成担当者による新人教育やフォローアップ研修を通して、職員の経験や段階に応じて教育・研修を実施、職員ひとりひとりがスキルアップできる環境作りを行っている。また、OJTを活用し、2ヶ月に1度内部研修を行い、働きながら知識や技術向上ができる取り組みを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島県・市グループホーム連絡協議会に加入しており、協会主催の研修にはリモートにて随時参加し、同業者とのネットワークづくりを積極的に行っている。また、より良いサービス提供のため、プライバシーに配慮し、同業者間での情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居決定の段階において、本人の生活歴や性格、利用にあたっての不安や要望などについて家族へアセスメントシートの記入を依頼し、入居後の環境変化にスムーズに馴染めるように、必要な整備等を行い準備している。また、家族の不安を少しでも和らげるために、入居前よりこまめな連絡取り、良好な関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居決定の段階において、家族へ希望する支援等を記す書類を用意し、家族の思いを引き出しながら、本人との関係を考慮し、良好な関係作りに繋げている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用前に本人・家族と面談し、現段階において必要とされている支援サービスが何かを一緒に検討している。さらに、様々なサービスの情報を提供し、専門的な見地から、必要とされている支援についてアドバイスを行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>理念である「ご利用者は人生の大先輩である」を念頭に置き、日々の暮らしの中で長年培ってきた能力を発揮できる環境を作り、利用者を敬う心を忘れず、職員と一緒に生活できる関係性を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と一緒に生活する中で、利用者が表現できない不安や思いを感じ取り理解し、家族に伝え利用者の望む暮らしを家族と一緒に検討している。また、家族から無理のない範囲で協力を得られるようにアプローチを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	開設時から、家族だけでなく友人や知人にも気軽に来訪出来るようオープンな環境を作っているが、現在は新型コロナウイルス感染予防対策の「3密」を回避するため、面会を制限している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が、明るい雰囲気と思いやりを持ちともに生活できるように、利用者間のコミュニケーションを見守っている。時に職員が間に入り、利用者同士が心地良い日々を過ごせるよう環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了する前に、他施設や病院への移動を円滑に行えるように支援をしている。移動後の経過など家族との連絡を絶やさず、関係を保ち支援を行っている。また、グリーフケアについて全職員が理解し、家族の心情に寄り添う支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月ケア検討会を開催し、その人らしい暮らしができるように日々分析・検討を行い、職員間で情報共有を行っている。また、日常生活の会話から本人の要望を把握し、思いを言葉にできない利用者へも表情やサインで読み取り、利用者本位の支援に繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、家族より本人のアセスメントシートを記入して頂き、これまでの生活や馴染みのある暮らしを把握し、サービス利用経過時の情報などを活かしながら、その人らしい暮らしができるよう支援の提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの日常の流れや心身状態を個々で記録し、情報を共有する事で、職員全員の支援の向上に活かしている。また、心身状態に変化がみられる際には、観察シートを記入し、こまめに職員間で共有・把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は、計画作成者だけでなく、チーム全体で作りに上げていくことを全職員が理解している。また担当者会議では、本人・家族が自由に意見が述べられる環境作りに努めているが、現在は新型コロナウイルス感染予防対策の「3密」を回避するため、電話にて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者一人ひとりの日々の生活の様子やサービス提供内容・健康状態を個々に記録し、職員全員で情報共有・把握に努め、介護計画の見直しやケアの実践等に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族へのニーズに対して医療面では、他科受診・往診等は馴染みのあるかかりつけ医を利用できるように支援している。地域のアロマセラピストの訪問マッサージや出張理容を活用していたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、現在は行っていない。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>以前は、地域ボランティアや近隣の小学生・幼稚園児の訪問があったが、現在は新型コロナウイルス感染予防対策の「3密」を回避するため、地域との交流は行っていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に本人・家族の希望する医療機関の情報を把握し、入居後も継続して利用できるように支援を行っている。また専門医を受診する際には、適切な医療が受けられるよう、本人・家族の希望を重視した支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師をホーム内に配置し協力医の看護師へ日常とホームでの情報や気づきを伝え相談することで適切な受診や看護を受けられるなど、予防・医療の視点で看護師の役割が機能している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院の時はカンファレンスに参加し病院関係者に情報提供を行っている。見舞いも兼ねて入院時は関係者に状態や退院日程の段取りを行うことで早期退院を図り、退院後も早期に回復できるよう情報収集に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に本人や家族へ重度化看取り方針について明確に説明し同意を得ている。医療ニーズがあり、本人や家族から不安がある際は主治医と面談において状態説明を行うことで本人、家族との情報共有ができる体制が整っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日頃から職員全員が共有できるよう急変時、事故発生時のマニュアルを作成し掲示している。AEDの取り扱いについては専門業者に定期的に内部研修を委託し正しく使用できる実践力を身に付けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各階に非常災害時対策マニュアルを作成・掲示し、全職員が情報共有している。また、毎月各階にて火災や地震を想定した日常防災訓練を行い、その時々で変化する利用者への支援について記録している。年に2回消防監督の下、消防避難訓練を行っていたが、新型コロナウイルス感染予防対策の「3密」を回避するため、現在は職員のみで行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇委員会を2か月に1回開催して日々の言葉掛けや対応を振り返り直すことで、個々の人格を尊重し尊厳ある生活が守られるよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介護支援の中でご利用者の反応や仕草を細かく観察するよう心掛け、消極的な反応が見られる際には無理強いせずご利用者の意思を確認し尊重するよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	コロナ禍のため制限があり必ずしも個々の希望には沿えず、身体・精神的負担があるように思われる。長期化するであろう現状をどのように過ごすか知恵を出し合い、その人らしい暮らしが送れるよう支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の応じて身だしなみやおしゃれが出来るよう支援している。コロナ禍のため、初めてスタッフによるヘアカットを行い、その人らしさ、スタイルの好み、要望などを知る機会になった。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の楽しみである食事をご利用者と一緒に台所に立ち、共同作業することでご利用者がこれまで培った経験を活かし、スタッフに指導して頂ける場になっている。ご利用者にとっても一連の食事の過程が達成感、充実感を得ることに繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者の必要栄養量(エネルギー・タンパク質など)に応じた献立作成を行い、食事摂取量、水分量/日の把握、確保に努めている。個々の状態、能力、習慣を踏まえて、健康維持、増進に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、案内、支援することで習慣化され清保できている。歯科衛生士の指導を引き継ぎ、現状維持に努める。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご利用者の生活習慣を十分に把握した上で適切な時間に声掛けや案内を行うよう心掛け、可能な限り自身で排泄が出来たという達成感を感じてもらえるような支援に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質を多く含む食材を取り入れた献立、乳酸飲料の提供、ご利用者に対する腹部マッサージ、ウォシュレット使用などの取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	設備の兼ね合いもあり、週2回各階曜日を決めて行うが、時間帯は午前午後、個々に応じ入浴支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせてナイトケアを行い寝具や室温確認に気を付けて休めるように支援している。職員間で情報を共有し睡眠状況に応じて休息の声掛け等も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々で薬箱を用意し薬剤師との連携も整っている。いつでも確認できるよう薬剤情報を健康記録へ綴じている。服薬時は本人へ手渡し、飲み込むまで確認している。看護師との連携を行い状態の変化に対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	時事問題に接するための新聞記事の読み聞かせや脳の活性化を図るためのカルタやトランプ、しりとり等のレクレーションの実施、栄養面に配慮した上での嗜好品の提供などの支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在、コロナ禍のため不要不急の外出の自粛をお願いしているところであるが、通常時はリフレッシュのためにも本人の希望を極力尊重し、外出支援を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご利用者の希望に応じて買い物に同行したり買い物代行を実施している。買い物に要した経費については、本人及び家族に伝えている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>コロナ禍のため、外出、面会に制限がある。携帯、LINEや写メ、TV電話、動画配信などを利用し、取り次ぐ支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>スタッフがこまめに清掃を行ったり、壁に花のポスターや貼り絵を展示したり、季節の生花やプランターに栽培した野菜を置くなど、ご利用者が四季を感じながら居心地よく過ごせるよう努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを設置して複数人で歓談の出来るスペースを設置したり、ひとりになりたい時は自由に自室へ帰れるよう、ご利用者のプライバシーを尊重しながら過ごせるよう工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前から使い慣れた家具や思い出のある物品などの持ち込みにより、新しい環境にスムーズに対応できるように配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>段差を無くしたり、転倒を防ぐ家具の配置などに留意している。出来る限り、ご利用者自身が「自分で出来た」と日々の生活の中で多くの達成感が得られるような生活環境の提供に努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない